

2022-2023 フィンドレー大学・福井県奨学生月例報告書 9月

作成者：永井みちる

作成日：2023年10月9日

10月になり、半袖で快適に過ごせていた日々から一転、ここ数日はダウンが必要になるほど寒い日が続いています。アメリカに来て2か月が経ち、だいぶこちらの生活にも慣れてきたと同時に、慣れてきたためにたるんでいると感じる日もあります。10月になったこのタイミングでもう一度気を引き締めて、日々努力してまいりたいと思います。今回は、秋学期に履修している授業の一部を紹介します。

授業について

私は現在、学部コースに所属しています。学部コースでは、12~18単位の中でクラスをとることができます。多くのクラスは3単位で、週に2回か3回授業があり、2回のは火曜日と木曜日に75分ずつ、3回のは月曜と水曜と金曜に50分ずつとなっています。

私は今学期、留学生向けの Writing、宗教学(The Jewish and Christian Traditions)、犯罪学(Self-Defense/ Stress Management)、Selected Topics in Japanese (Japanese Film)、Experiences in Japanese (Genki Kids)、ギターレッスンの5つの授業を履修しています。今回はそのうちの2つを紹介します。

Fall'23					
Time	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
10:00AM	MUSC				
11:00AM	RELI RELI	CJUS CJUS	RELI RELI	CJUS CJUS	RELI RELI
12:00AM	ENIN ENIN	CJUS	ENIN ENIN	CJUS	ENIN ENIN
1:00PM					
2:00PM					ENIN ENIN
3:00PM					
4:00PM					
5:00PM		JAPN Film JAPN Film	Genki Kids Genki Kids		
6:00PM					
7:00PM				JAPN Film JAPN Film	
8:00PM				JAPN Film JAPN Film	

MUSC: Music RELI: Religious Studies ENIN: Intensive English Language Program CJUS: Criminal Justice

JAPN: Japanese

・ Writing Review I for Non-Native Speakers

これは学部コースに所属する、英語を母国語としない学生に必修の英語のライティングの授業です。留学生の多くは IELP (集中英語コース) か大学院コースに所属しているため、全部で10人ほどの小さなクラスです。クラスメイトは日本人、ベトナム人、コロンビア人、インド人など様々です。これまでに、Summary と Argumentative Essay の書き方について学びました。Argumentative Essay 一つをとっても参考資料の探し方、資料

の要約、引用の書き方などいくつも過程があり、一つ一つ丁寧に学んでいきます。先日は Argumentative Essay を書く過程の一つとして、主張の根拠が十分に説得力のあるものかを確認するためにプレゼンテーションを行いました。留学に来て初めてのプレゼンテーションで不安もありましたが、留学生のみのクラスでとにかく挑戦！という雰囲気があったためあまり緊張せずに終えることができました。今後もライティングの授業では特に挑戦を恐れず、積極的に取り組んでいきたいです。

・ Selected Topics in Japanese (Japanese Film)

これは日本の映画や日本の歴史に関する映画を見てディスカッションをする授業です。日本語を学ぶ学生と日本人留学生が半数ずつです。これまで見た映画は、『おくりびと』『どろろ』『からゆきさん』などです。ディスカッションを通して、私たち日本人にとって当たり前になっている習慣や文化の中に、日本人特有の考え方や宗教的背景があることに気が付きました。また、これまで見た映画の中には日本では教えられないことのない隠された歴史をテーマにしたものもあり、「当たり前」や自分の置かれた環境を別の視点から見直すことの重要性を実感しました。

・ Introduction to Applied Music (Guitar)

毎週月曜日の朝にマンツーマンのギターレッスンを受けています。中学生のころから独学でギターを学んでいて、ここ数年はあまり弾いていなかったのですが、以前からちゃんと習ってみたいという思いがありました。コードの構成や新しい演奏法、難しくて避けていたコードの抑え方のコツなど、自分で YouTube などを見て学ぶだけでは知らなかったことを多く習い、上達のスピードが格段に速いように感じます。まさかアメリカでギターを習う機会に恵まれると思っていませんでした。この機会を生かして楽しく学んでいきたいと思います。

9月の出来事



・ Cedar Point

8月の終わりから2週間ほど、Kake Ambassador Program という留学プログラムで、加計学園の学生がフィンドレー大学を訪れていました。そのプログラムの一環で、私たち留学生と日本語を学ぶ学生も加わり、大学から車で一時間半ほどのところにある Cedar Point という遊園地遊びに行きました。聞いたことのない Cedar Point という名前あまり期待をしていなかったのですが、富士急ハイランド並みの大きなジェットコースターがいくつもあり、世界観も作り込まれていて1日あっても足りないと思うくらい楽しむことができました。途中で一度、遊園地を出て近くの有名なアイス屋さんに行きました。アメリカのアイス屋さんはどこも一番小さいサイズでも日本の一番大きなサイズ位ありますが、ここのアイスは信じられないくらい大きかったです。右の写真は私が注文したスモールサイズのアイスです。これでスモールサイズです。三人がかりでも食べきるのに苦労しました。



アメリカのアイス屋さんはどこも一番小さいサイズでも日本の一番大きなサイズ位ありますが、ここのアイスは信じられないくらい大きかったです。右の写真は私が注文したスモールサイズのアイスです。これでスモールサイズです。三人がかりでも食べきるのに苦労しました。

・ Fall retreat

フィンドレー大学はキリスト教の大学で、クリスチャンの学生が多くいます。Campus Ministry という団体がクリスチャンの学生に向けてバイブルスタディをはじめとした様々な活動をしていて、その活動の一環で週末の1

泊のキャンプに参加しました。グループに分かれて聖書にまつわるゲームをしたり、聖書を読み考えたことをシェアしたり、焚火を囲んでワーシップソングを歌いました。夜にはキャンプ場のキャビンで、マットレスだけあるベッドに持参した寝袋またはシーツと毛布を敷いて眠ります。二日目の朝にはキャンプ場内の池で洗礼式が行われました。今回のキャンプでは4人の学生が洗礼を受け、一人一人が洗礼を受けるに至った経緯を話し、Campus Ministryの牧師が洗礼を授けました。話している内容をすべて理解することはできませんでしたが、みんなが真剣に見守る中、時に涙しながら自分の経験を話す姿はとても印象的でした。また、フリータイムには学生の一人と日本の宗教観やフィンドレー大学の日本人留学生について話し、日本人留学生のために毎週一緒に祈ろうとってくれました。知り合いがあまり多くない中の参加で不安も多くありましたが、実りが多く、勇気を出して参加してよかったです。ここで得たつながりを今後も大切にしていきたいです。



フリータイムのパドルボート



焚火を囲んでワーシップ

本報告書に関してご要望やお問い合わせ等ございましたら、以下のメールアドレスまでご連絡ください。

nagaim@findlay.edu